

(様式例 2)

大阪市立榎本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなか

年度目標	達成状況
<p>【学力の向上】</p> <p>① 本年度の学習理解度到達診断（しんだんテスト）の正答率8割以上の児童の割合を、全学年で昨年より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 本年度の「学校アンケート」で、「授業がわかる」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童の割合を、低…75%、高…70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 「26年度授業アンケート」で、「お子さんは、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する保護者の割合を、全学年で65%以上にする。 (マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【習熟度別少人数授業の実施】</p> <p>国語・算数の習熟度別クラス編成時にレディネステストや児童アンケートを実施し、適正なクラス編成をするとともに、教材の開発を行う。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 単元ごとにレディネステストやアンケートをもとにクラス編成を行う。</p>	
<p>取組内容②【言語力や論理的思考能力の育成】</p> <p>読解、記述、コミュニケーションなど、多様な言語活動を、各教科において実施する。</p>	
<p>指標 言語活動の取り組みを、全ての学年で計画的に行う。</p>	
<p>取組内容③【家庭・地域・外部諸団体との連携推進】</p> <p>学級文庫および習熟教材を充実させ、家庭・地域・外部諸団体との連携のもと、読書習慣の定着や各教科学習の理解を進める。 (カリキュラム・サポート改革関連)</p>	
<p>指標 P T Aや地域・各種団体・学生などのボランティアに多く参画してもらう。</p>	
<p>取組内容④【研究授業を伴う校内研修の充実】</p> <p>全学年・ひまわり・ひかりの会で研究授業を実施するとともに、各種研修会を行い、授業力・対応力の向上を図る。</p>	
<p>指標 年間7回以上の研究授業</p>	
<p>取組内容⑤【研究授業を行う若手教員の育成】</p> <p>全教職員総がかりで、若手教員の育成に取り組む。 (マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標 全若手教員が研究（公開）授業を実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

(様式例 2)

大阪市立榎本小学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

年度目標	達成状況
<p>【道徳心・社会性の育成】</p> <p>① 本年度の「学校アンケート」の「友だちとなかよくできている」「私にはいいところがある」等の項目について、「よくあてはまる」と回答する児童の割合を、昨年度より 5 ポイント以上増加させる。 (カルキュラム改革・サポート改革)</p> <p>② 本年度の本校の「いじめアンケート」の「仲間はずれにされる」「嫌なことをいわれる」の項目について、「0」を目指す。(カルキュラム改革・サポート改革)</p> <p>③ 生活指導上の対応件数を、「毎日 3 件程度」に減らすとともに、保健室対応件数を、「毎日 20 件程度」に減らす。 (カルキュラム改革・サポート改革)</p> <p>④ 児童・保護者・地域が「えのもとの森」を通して、東北地方（陸前高田）と絆を深めることにより、社会貢献の精神（命を思う心情）を育成する。</p> <p style="text-align: right;">(カルキュラム改革・サポート改革)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育の推進】</p> <p>児童会を中心に「あいさつ運動」を実施し、あいさつができるようになるとともに、きまりを守るための強調週間を設ける (カリキュラム・サポート改革)</p> <p>指標 「あいさつ運動」や強調週間を、チェックカードをもとに振り返る。</p>	
<p>取組内容②【保護者・地域との連携】</p> <p>「えのもとの森プロジェクトチーム」による「えの森から発信する、心・校内才アシス化計画」を立ち上げ、活動を展開する。 (カリキュラム・サポート改革)</p> <p>指標 月に 1 回、「プロジェクトチーム」を開き、PDCA サイクルで計画を進める。</p>	
<p>取組内容③【特別活動】</p> <p>「縦割り班」や「分団班」編成により、異学年交流を深める。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム・サポート改革)</p> <p>指標 月に 1 回、縦割り班活動を実施するとともに、毎日の分団活動を充実する。</p>	
<p>取組内容④【防災教育の推進】</p> <p>「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。 (カリキュラム・サポート改革)</p> <p>指標 通常の避難訓練と保護者・地域・近隣学校園との合同避難訓練を実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【いじめへの対応】</p> <p>校内体制を中心に、全教職員で共通理解を図り、対策を講じる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム・サポート改革)</p> <p>指標 「いじめアンケート」を学期に 1 回実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

大阪市立榎本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなか

年度目標	達成状況
<p>【健康・体力の保持増進】</p> <p>①本年度の新体力テストの数値の伸び率を高めるために、体育科の授業研究会を全学年が計画的に行う。（カリキュラム改革）</p> <p>②「健康生活習慣」などをとおして、健康な生活習慣が身につくようにする。 (カリキュラム改革)</p> <p>③食事の大切さを知り、自分の健康を考えて食事ができるように、栄養指導を計画的に行う。 (カリキュラム・サポート改革)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【体力づくりのための活動の開発】</p> <p>いろいろな外遊びの指導やなわとび・かけ足週間を活用し、体力向上への意識を高める。 (カリキュラム・サポート改革)</p>	
<p>指標 いろいろな遊び方を指導し、日常的に体力が高まるようにする。</p>	
<p>取組内容②【体育科授業の充実】</p> <p>体育科の授業を計画的に行い、授業の充実を図る。 (カリキュラム改革)</p>	
<p>指標 全学年が年間計画に基づいて研究授業を行う。</p>	
<p>取組内容③【健康な生活習慣の確立 1】</p> <p>健康な生活習慣が身につくように、家庭と連携して指導する。 (カリキュラム・サポート改革)</p>	
<p>指標 チェックカードや振り返りカードを活用する。</p>	
<p>取組内容④【健康な生活習慣の確立 2】</p> <p>食事の大切さについて、「給食・栄養だより」等で、児童・保護者に啓発を図る。 (カリキュラム・サポート改革)</p>	
<p>指標 「給食・栄養だより」を月1回、発行する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立榎本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなか

年度目標	達成状況
【教職員の資質向上】	
① 本年度の「学校アンケート」の「授業がわかる」の項目について、「よくあてはまる」が、昨年度より上回るようにする。 (カリキュラム改革)	
② 本年度の「授業アンケート」で、「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で50%以上にする。 (マネジメント改革)	
③ 毎日の生活指導上の対応件数が、昨年度より減るようにする。 (マネジメント・サポート改革)	
④ 本年度の「授業アンケート」で、「学校は楽しいですか」の項目について、「そう思う」と回答する児童の割合を、70%以上にする。 (マネジメント改革)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【コンプライアンスの意識を高める】 教育公務員としてのるべき姿を常に意識し、各自が日々資質の向上を目指す。 (マネジメント改革)	
指標 月1回、互いに点検し合う体制を確立する。	
取組内容②【“体罰絶対悪”の意識を深める】 全教職員が、児童・保護者に寄り添い、自尊感情を高める資質を身につける。 (マネジメント改革)	
指標 月1回、互いに点検し合う体制を確立する。	
取組内容③【「教職員としての生き抜く力」を体現する】 全教職員が、日々の課題に挑戦し、乗り越えていく「教職員としての生き抜く力」を身につける。 (マネジメント改革)	
指標 月1回、各自が自己点検する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	